

これまでのコンサートのあゆみ

- 第1回 2008.12.03 《映画音楽》 タラのテーマ・慕情・ひまわり 他
第2回 2009.05.13 《フォークソングを歌おう》 若者たち・バラが咲いた
第3回 2009.05.13 《シャンソン特集》 愛の讃歌・枯葉・恋こころ
第4回 2009.08.12 《あなたの好きな曲を どうぞ》 ここに幸あり・青春時代
第5回 2009.12.17 《ちょっと早い年忘れ》 往年の名歌手たち・世界の抒情歌
第6回 2010.04.07 《歌は世につれ 世は歌につれ》 NHKラジオ歌謡曲
第7回 2010.08.04 《ロシア民謡大特集》 トロイカ・泉のほとり・ともしび
第8回 2010.12.08 《世界の子守唄》 ブラームスの子守歌・竹田の子守唄
第9回 2011.03.31 《我が青春の歌》 ダイアナ・遠くへ行きたい
第10回 2011.07.06 《日本の世界の叙情歌集》 宵待草・ロンドンデリーの歌
第11回 2011.11.16 《思い出に残る TV 主題歌》 鉄腕アトム・おはなはん
第12回 2012.02.29 《明治～大正～昭和～平成の愛唱歌》 蛍の光・早春賦・
第13回 2012.05.23 《昭和の日本の歌&舶来ソング》 高校三年生・
第14回 2012.08.12 《'窓を開ければ'唄が聞こえる》 横浜の歌特集
第15回 2012.11.28 《明日に残す 今の歌》 赤とんぼ・ふるさと・ふじ山
第16回 2013.06.12 《国民愛唱歌集》 イヨマンテの夜・朝はどこから
第17回 2013.09.12 《昭和 30 年以降の黄金期を唄う》 星影のワルツ
第18回 2013.12.15 《年の暮れ あなたのリクエストをみんなで歌いましょう》
第19回 2014.04.01 《春の唄特集》 早春賦・春一番・春なのに・花の街
第20回 2014.07.16 《夏の唄特集》 夏が来ぬ・夏の思い出・少年時代
第21回 2014.10.22 《ちいさな秋をみつけて》 もみじ・里の秋・案山子
第22回 2015.01.11 《新春を歌う！！》 お正月・1月1日・広い河の岸辺
第23回 2015.03.08 《春の歌！ フォスター名曲集》 早春賦・ローレライ

入会・お問い合わせ：オフィス・バルーン

TEL:045-902-7402 、 FAX : 045-901-9914

みんなで歌いたい曲！！あなたのリクエストお寄せください！！



第24回

昔を！ 今を！ 今歌う会

初夏に歌う！ あの歌～この歌～！

お話・歌唱指導：酒井沃子、安田直弘
ピアノ：青柳志保



2015年6月14日（日曜日）開演14:00

会場：オフィス・バルーン

主催：今歌う会実行委員会



プログラム

～夏の歌～

- 第1集 ・夏は来ぬ . . . 10
・茶摘み . . . 19
・月見草 . . . 43
・若葉 . . . 48
・みかんの花咲く丘 . . . 51
- 第2集 ・白い花の咲くころ . . . 38
・水色のワルツ . . . 61
・緑のそよ風 . . . 63
・森の水車 . . . 66

歌唱指導・「世界に一つだけの花」作詞・作曲：槇原敬之、

2002年 歌：SMAP

「切手のないおくりもの」作詞・作曲：財津和夫

1978年 チューリップ 財津和夫

♪～♪ お楽しみコーナー ?? ♪～♪

リクエストから～ 北原白秋 作詞の歌

- 第1集～ 城ヶ島の雨 (P22)、ゆりかごのうた (P31)、
砂山 (P33)、からたちの花 (P36)、ペチカ (P37)
待ちぼうけ (P37)、この道 (P39)
- 第2集～ 雨 (P12)、あめふり (P12)、あわて床屋 (P13)
里ごころ (35)、すかんぼの咲く頃 (40)、砂山 (42)

<みんなで～歌いましょう>

♪～ご希望の曲を みなさん選んで下さい！！♪



北原白秋：作家

北原白秋は、日本の詩人・童謡作家、歌人。
1885年1月25日、福岡県柳川市に誕生
1904年上京、「明星」「スバル」に短歌、詩を
発表。1918年鈴木三重吉「赤い鳥」の童謡面
を担当、その後日本の創作童謡に新分野を開拓
した。白秋が生涯に作った童謡は1000編を超
え、成田為三、山田耕筰らによって作曲され
た。「砂山」(1922)「からたちの花」(1924)、
「この道」(1926)「五十音」などが小田原時
代に創られた。1942年(昭和17)11月2日。
享年57歳。生涯の全著作は二千冊にのぼる。
北原白秋の墓は、東京都府中市・多磨霊園にあ
る。福岡県柳川市には北原白秋記念館がある。

白秋の生家



この道はいつか来た道、
ああ、さうだよ、
あかしの花が咲いてる。

あの丘はいつか見た丘、
ああ、さうだよ、
ほら、白い時計臺だよ。

この道はいつか来た道、
ああ、さうだよ、
お母さまと馬車で رفتたよ。

あの雲もいつか見た雲、
ああ、さうだよ、
山査子の枝も垂れてる。